

## 【令和元年度第3回博物館協議会 会議録】

(敬称略)

- 1 日 時 令和2年3月24日(火)午後2時から午後3時30分
- 2 会 場 松本市立博物館 2階講堂
- 3 出 席 笹本委員、横澤委員、百瀬委員、村井委員、山根委員、米山委員、奥村委員
- 4 事務局出席者 木下博物館長、山村事業担当係長、土屋庶務係長
- 5 傍 聴 者 1名
- 6 会議の概要

### (1) 開会

### (2) 会長あいさつ

みなさんこんにちは。本日はお集まりいただきありがとうございます。今日は、博物館が閉まっており、不安を持ってやって来ました。新型コロナウイルスの蔓延により、社会が閉塞状態になってきた。私たち博物館も大きな課題を抱えている。

そういう中だからこそ、来年度のことを考える、また、次の時代をどうやって作っていったらよいか考えながら、今日もしっかり協議していきたい。

ご協力をお願いします。

### (3) 博物館長あいさつ

年度末のお忙しいなか、また、新型コロナウイルスの感染が危惧されるなかご参集いただきましてありがとうございます。夏に上越の博物館施設を視察に行きまして、本来でしたらそこで学んだことをどう生かすかきちんと皆様からご意見を賜り、次に生かす機会を設けなければいけなかったが、今日までできておりません。運営面で大変申し訳なく思います。お時間があれば、またお聞かせいただければと思います。

本日の案件は、まだ、議会報告をしていない案件がありますので、一部非公開で行います。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、短時間に済ませていきたいと思えます。

よろしくをお願いします。

### (4) 議事

- ア 令和2年度松本市立博物館事業計画  
(会長)

会議のメドを1時間程度で終えたい。

本日は、松本市附属機関の設置等に関する要綱第5条の2の規定により、一部を非公開で行います。それでは、令和2年度松本市立博物館事業計画について、事務局から説明を行います。

(事務局)

令和2年度松本市立博物館事業計画

市立博物館及び分館を一体的に管理運営し、より効率的な事務事業を実施します。また、全施設が松本まるごと博物館構想に基づいて市民の生きがいつくり、学びの場となるような博物館活動を実施するとともに、「学都松本」にふさわしい事業を展開する目標に沿った事業を展開します。

事業の概要として、基幹博物館整備事業は、令和元年7月末に建築及び展示の設計が完了しました、12月末には建築工事の入札を行い令和2年3月に工事請負契約を行いました。展示製作業務は令和2年10月に着手できるよう準備を進めます。また、昨年度に引き続き地下水影響調査を行います。

特別展は、博物館に収蔵してある多くの資料を公開し、博物館の面白さ。資料の大切さを考えていただくため、7月から5つのテーマ「武士の世界」「博物館の一品Ⅰ」「生活と色」「博物館の一品Ⅱ」「まつり」に沿って資料を大公開する「収蔵資料大公開展」を本館で開催します。

また、本館・分館連携した企画展に開催や博物館友の会や市民学芸員と連携、協働して各種事業を開催します。

さらに、令和元年度末に定める博物館資料の取扱いに関する方針に沿って、資料の収集、整理、除籍を実施します。

博物館の予算は、前年と比べて主に変更があったものを中心に説明します。

資料2の歳入でございますが、観覧料収入が1億6157万円、物品売り払い収入が3,313万円、その他収入が7億2225万円で、歳入合計は9億1695万円でございます。

まず、観覧料収入は対前年比0.5%の減です。理由は、国宝旧開智学校校舎の観覧料収入が、国宝指定により、対前年比1.7倍で見込んでいますが、松本城・博物館特別券の販売に伴い、博物館の大人料金を200円から160円に設定したことによるものです。続きまして物品売り払い収入は、対前年比15%増です。理由は、国宝旧開智学校校舎の観覧者数の増加によるものです。

その他の収入の主なものは、基幹博物館整備に充てられる、国庫補助金の社会資本総合交付金の9,155万円、芸術文化振興基金繰入金3億4

205万円、基幹博物館整備充当債3億6600万円です。

なお、基幹博物館整備充当債は合併特例債を利用し、基幹博物館の工事費に充てられます。

歳入のうち、観覧料と物品売払収入の館別の内訳及び前年度との比較は次ページの資料3です。併せてご確認ください。

続きまして、歳出です。歳出全体の総額は、10億7432万円です。詳細は、資料4で説明します。

博物館の施設の維持管理を行う管理運営費が2億1188万円で、対前年比8.6%の増加です。主な増加の理由は、法令に従い処分を行うPCB処分料が772万円、時計博物館の展示室加湿器及び給水加圧ポンプ取替工事があわせて576万円、旧開智学校校舎内の観覧環境向上のためのあずまやの設置費用が204万円です。

なお、あずまやの設置については、国際ソロプチミスト松本40周年記念事業による寄付金150万円を受け入れ、建設費の一部とします。

博物館事業費は3,602万円で対前年比13.0%の減少です。

主な減少の理由は、分館ごとの印刷物の仕様を統一したことによるものです。

基幹博物館整備事業費は8億2214万円で、対前年比4.8倍となっています。

令和2年度は建設工事が本格化するもので、土地借上料が2011万円、地下水影響調査が1029万円、工事監理費が648万円、展示製作委託が3億1248万円、工事請負費が4億7035万円となっています。

(質疑応答)

なし

ここで、公開部分は終了し、傍聴者退席。